学校番号	327

令和８年度　芸術科（普通科）

教科	芸術	科目	保育芸術	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主制作プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・将来、保育・初等教育従事者として、幼児・児童の芸術活動や指導に対応できる即戦力を身につけていきます。
・週に１時間ずつ、音楽と美術を学びます。音楽は「歌唱」「楽器演奏」「お遊戯」、美術は「イラスト」「製作」をメインに年間を通して学習します。また、指導者としての心得や指導法も学びます。
・学習の到達度は、作品提出、実技テスト、提出物、普段の取り組みで評価します。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
音楽の幅広い活動を通して、音楽のよさや美しさなどを感じ取って、そこに価値を見いだすことのできる感性を育てる。（音楽）
美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。（美術）
【思考力、判断力、表現力等】
音や音楽を知覚・感受して、思いや意図をもって表現したり、味わって聴いたりする過程で、創造的な表現の力を伸ばす。（音楽）
制作活動を通じて準備、段取り、状況判断などの大切さを学び、それらの活動が普段の生活にも生かせるようにする。（美術）
【学びに向かう力、人間性等】
音や音楽と文化的・歴史的背景、生活や社会との関わりについて考え、音への関心を高め、積極的に授業に取り組む生徒の育成。（音楽）
積極的に制作活動に取り組み、日常生活をより良いものにする。（美術）

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景等との関わり、及び音楽の多様性について理解している。（音） ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、表現している。（音） 創造的な美術の表現をするために必要な知識・技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。（美）	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚、感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図を持ち、演奏や創作をしている。（音） 感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。（美）	音楽の表現活動の喜びを味わい、多様な表現方法や音楽文化に関心を持ち、主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。（音） 美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする（美）
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	(美術)技法探究 (音楽)演奏力探究	読譜力・初見力を養う。ト音・ヘ音記号の音、音符・休符を理解する。歌唱・ピアノ演奏の基礎。お遊戯の学習、指導法。(音楽) 幼児の図画描写発達段階の説明。子どもの好む動物・植物の描き方。身近な素材の作品を作る。(美術)	a:【知】音楽の基礎知識を身に付け理解している。 【技】姿勢や呼吸などの身体の使い方の技能、他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、演奏で表している。 b:曲のリズム、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚、感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように演奏するか表現意図を持っている。 C:音楽を幅広く様々な視点から捉えようとすることに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 (音楽) a:作品制作に対して慎重かつ計画的に実行することができるか。 b:子どもの好むイラストの描き方を理解し、そのイメージを作品にどのように投影するか表現意図を持っている。 c: 作品制作に対して真摯に取り組む態度を養う。 (美術)	プリント ノート 観察 発表 作品提出	プリント 観察 発表 作品提出	観察 プリント 発表 振り返り レポート
2学期	(美術)季節行事の壁紙作り、モビール、マジックカード(音楽)伴奏力探究・合奏法	簡単なコードネーム(メジャー・マイナー・セブンス)の仕組み。メロディ(童謡)に相応しい伴奏のパターンを理解し、創作する。合奏では、子どもの演奏でよく使用される楽器の種類、奏法を学び、協力し合奏をしていくとともに、子どもへの合奏指導法も学ぶ。(音楽)	a:【知】コードネームを理解し、伴奏パターンを理解している。また、様々な楽器の種類、奏法を覚え、合奏について理解している 【技】曲にふさわしい伴奏を考え、表現意図を持って創作をしている。他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、協力して合奏に取り組んでいる。 b: 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それ	プリント ノート 観察 発表 作品提出	プリント 観察 発表 作品提出	観察 プリント 発表 レポート

		季節行事ごとに楽しい壁紙を作る。風で動くモビールや不思議なカードを作る。(美術)	らの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。 C:主体的・協働的に創作および合奏の学習活動に取り組もうとしている。 (音楽) a:季節のデザインを学び、効果的な壁紙を作る技法を身に付ける。制作は立体的な把握ができるようになるとともに、技法や道具を適切に使いこなせるように学習する。 b:壁紙の効果を有効に演出するために、デザイン構成が的確に行えるよう学習する。立体は動きをイメージし、子どもが興味を持つ作品を考え、創意工夫している。 c: 作品制作に対して真摯に取り組む態度を養う。 (美術)			

3学期	(美術)楽しい動くおもちゃ作り (音楽)弾き語り探究	2 学期に完成した伴奏で歌唱指導。伴奏のみによる歌唱指導。および、弾き語り練習。(音楽) 身近な素材で動くおもちゃを作る。(美術)	a:【知】歌唱をしながらの伴奏の効果的な付け方を理解する。また、子どもに対する歌唱指導の方法を学び理解している。 【技】歌唱をしながらの伴奏技能を身に付けている。また、子どもへの歌唱指導の技能を学び、実践できている。 b: 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。 C:主体的・協働的に歌唱・器楽の学習活動に取り組もうとしている。 (音楽) a:動くおもちゃをつくる方法を学習し、子どもが喜ぶおもちゃの仕組みを学ぶ。 b:身近な素材を選び、子どもが喜ぶおもちゃを試行錯誤して、制作できている。 c: 作品制作に対して真摯に取り組む態度を養う。 (美術)	プリント 観察 発表 作品提出	プリント 観察 発表 作品提出	観察 プリント 発表 作品提出 レポート

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度